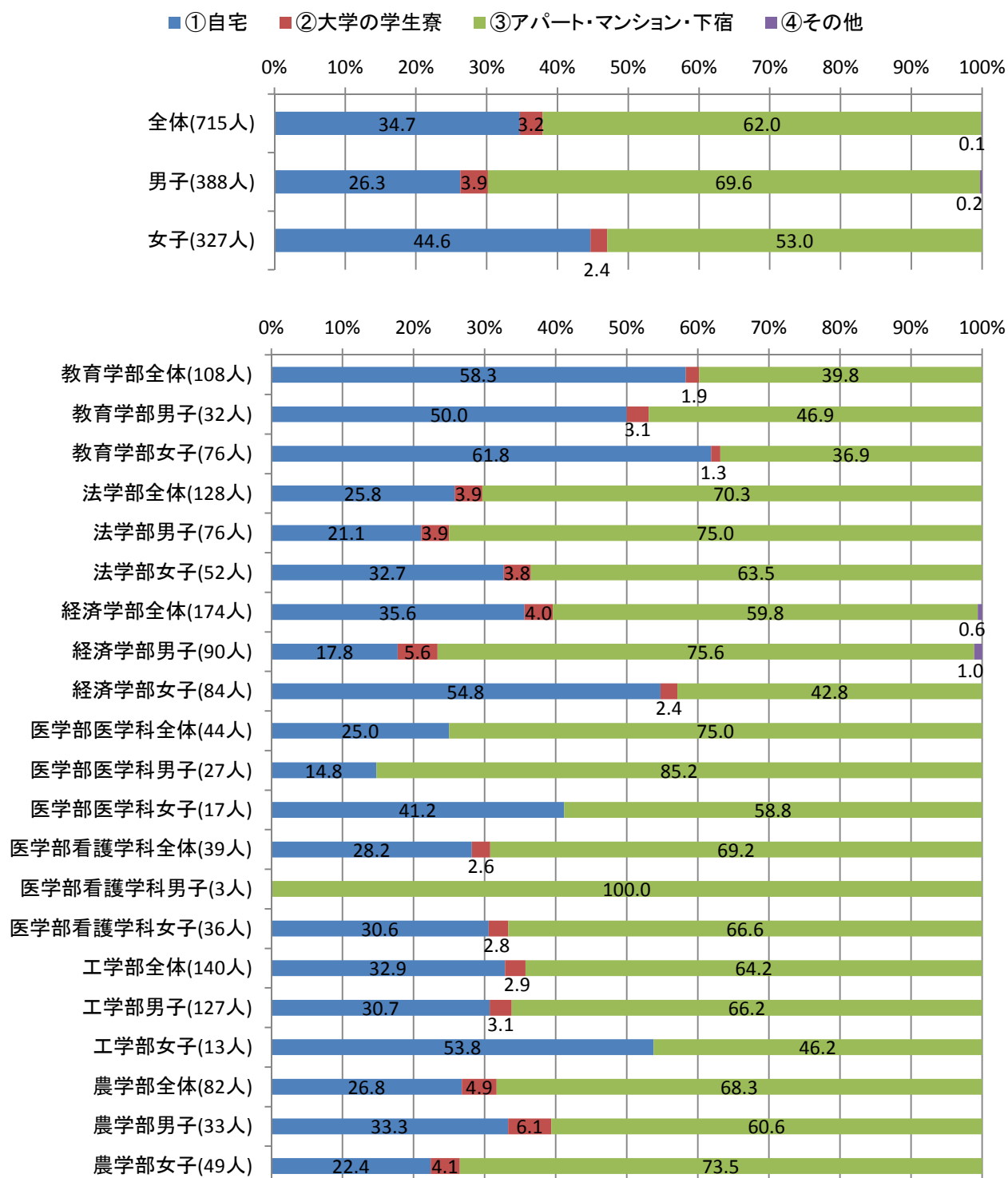


3 経済状況について

(1)住居の形態

問6 あなたが現在住んでいるのは次のうちのどれですか。

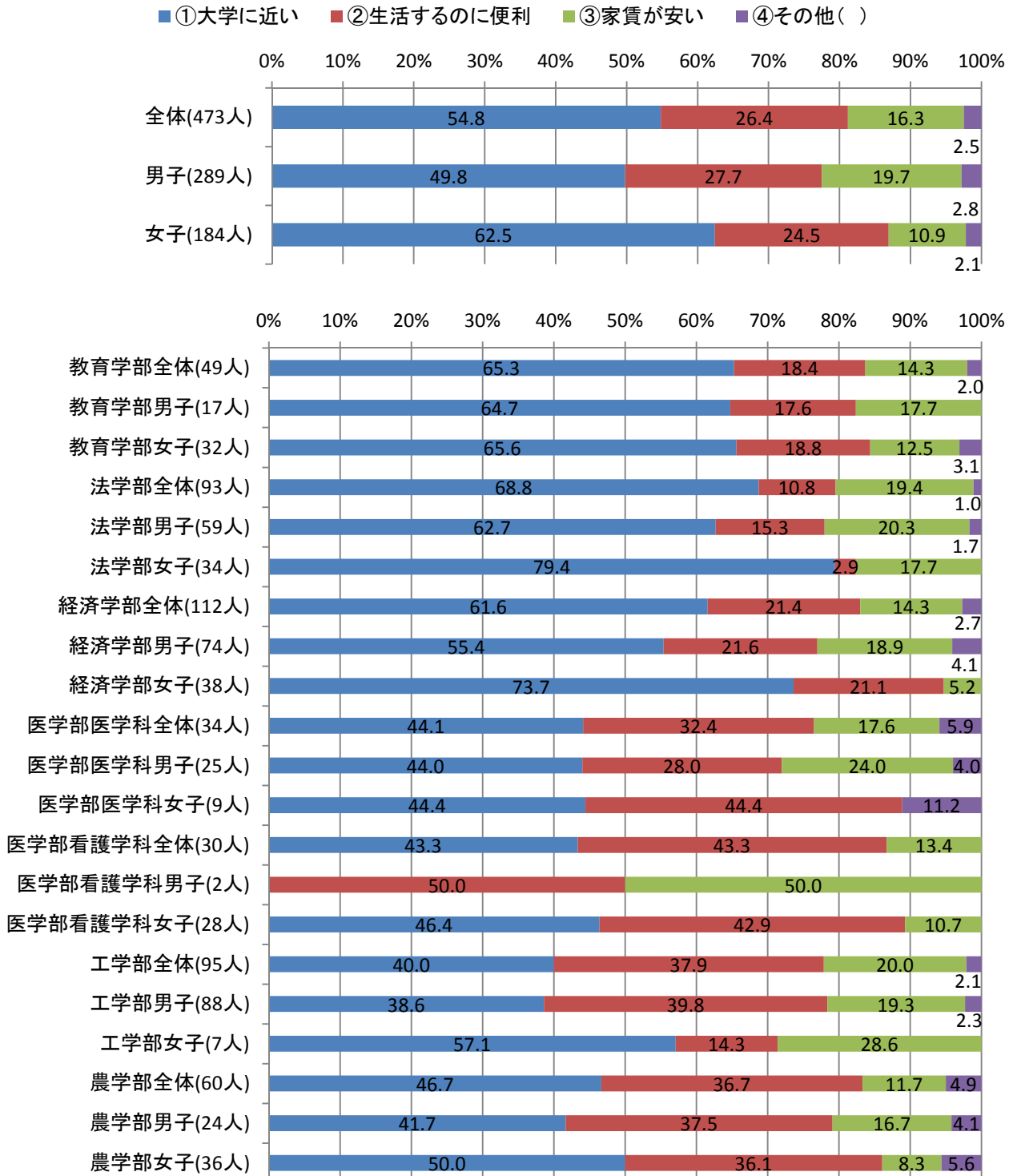
- ・自宅通学がおよそ3人に1人(34.7%)であり、残りのおよそ6割が自宅通学である。
- ・自宅通学は、教育学部女子(61.8%),経済学部女子(54.8%)に特に多い。
- ・自宅通学が最も少ないのは、医学部医学科男子(14.8%)である。



(2)住居を選んだ理由

問7 問7から問13まで、現在、自宅以外に住んでいると回答した方におたずねします。

・住居を選択する基準は、まず「大学に近い」(54.8%)であり、次いで「生活するのに便利」(26.4%)である。
 ・「家賃が安い」は16.3%である。学部別に見ると、とりわけ法学部女子、経済学部女子に「大学に近い」(それぞれ79.4%、73.7%)という選択基準に対する選好が強い。他方、幸町キャンパス以外の理系学部の学生の場合には、むしろ「生活するのに便利」という観点が住居選択に当たって重視される傾向が見られる。



問8 問7の質問で「4.その他()」を選択した方は、その内容を記述してください。

教育学部	[・妹の通学距離との兼ね合い。]
男子学生			
女子学生	[回答なし]
法学部	[]
男子学生			
女子学生	[回答なし]
経済学部	[・そこしかなかった。 ・学生寮で上下関係を学び、協調性を養うため。 ・改装したとこだったから。]
男子学生			
女子学生	[回答なし]
医学部医学科	[・医学部キャンパスに近い。]
男子学生			
女子学生	[・広い、医大生が近くに住んでいない、新築。]
医学部看護学科	[]
男子学生			
女子学生	[回答なし]
工学部	[・親に強制的に入らされてしまった。]
男子学生			
女子学生	[回答なし]
農学部	[・空いてなかった。]
男子学生			
女子学生	[回答なし]

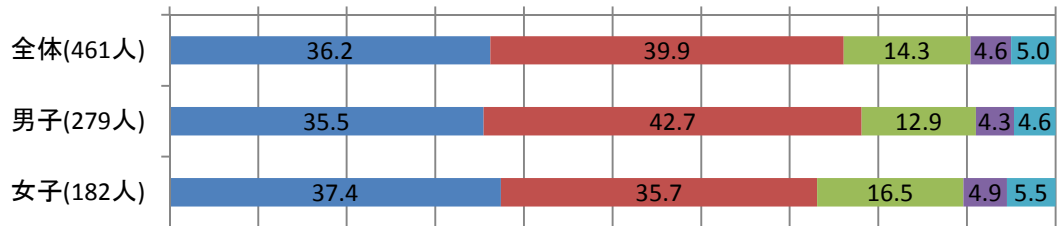
(3) 部屋の間取り

問9 現在の住居の部屋の間取りはどのタイプでしょうか。一つ選んで教えてください。

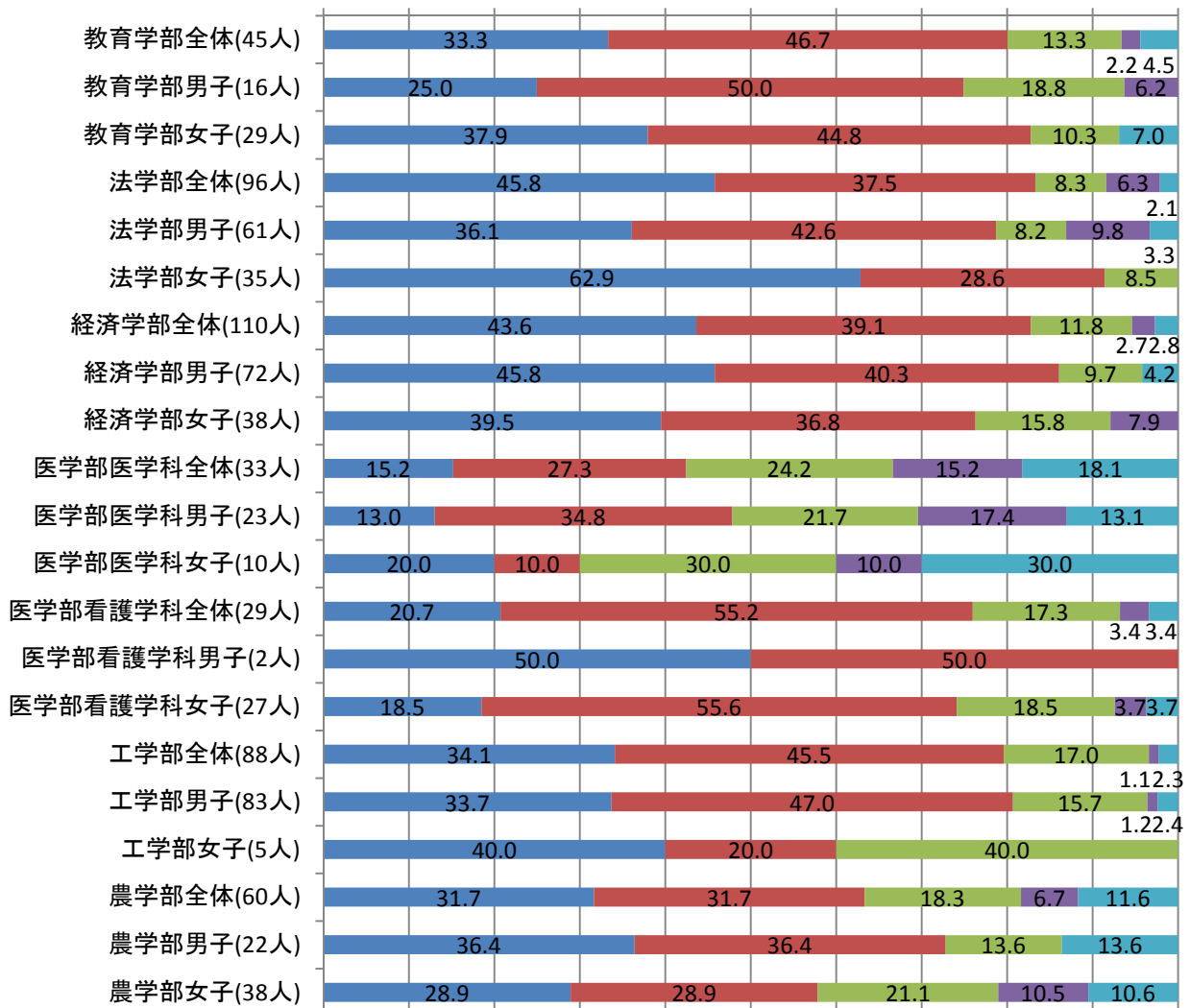
- ・間取りの典型は、「1K」(39.9%)もしくは「ワンルーム」(36.2%)である。
- ・医学部看護学科の学生の部屋の間取りは「1K」が特に多い(55.6%)。
- ・「ワンルーム」はとくに法学部女子に多い(62.9%)。

■①ワンルーム ■②1K ■③1DK ■④1LDK ■⑤その他

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



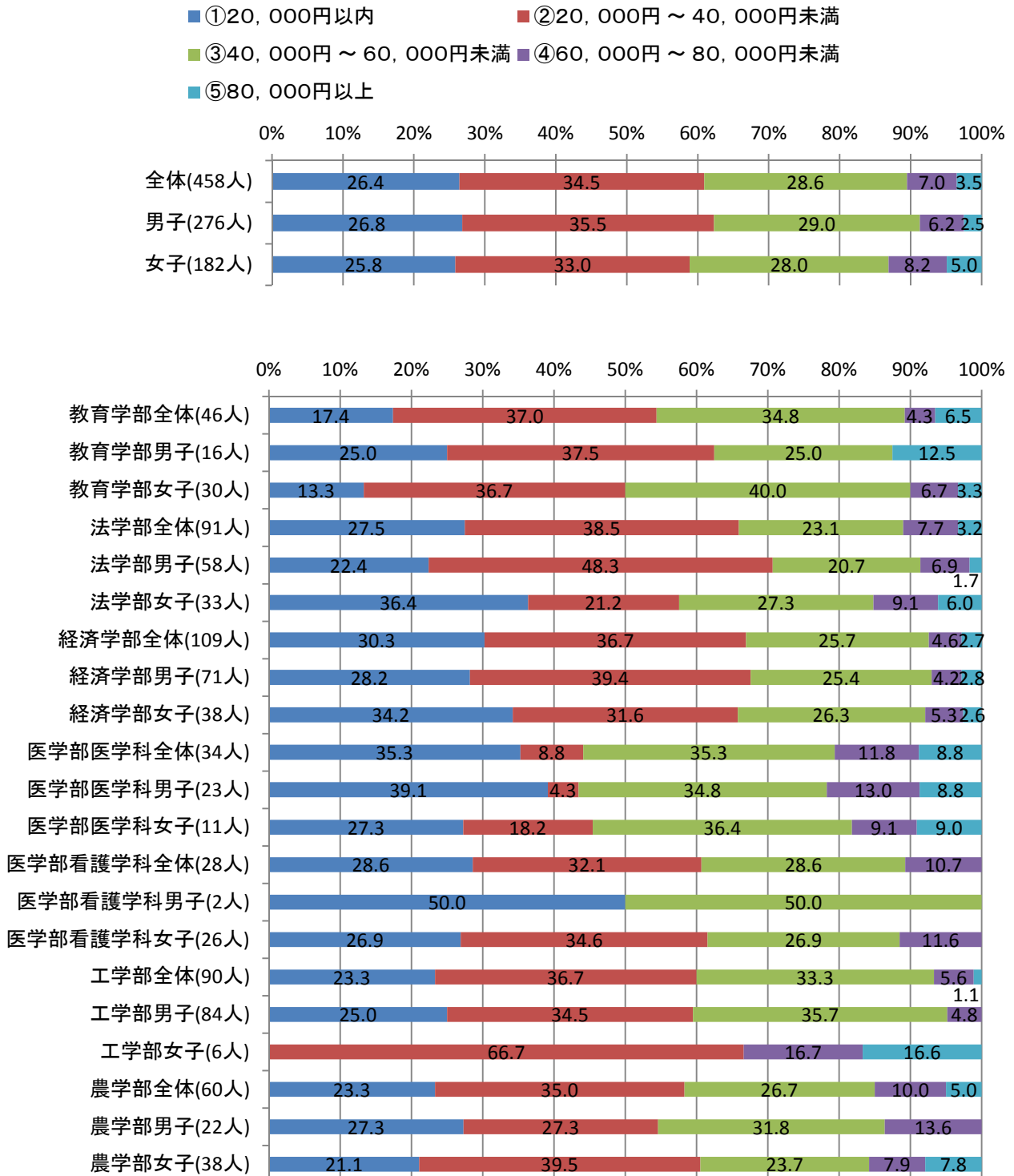
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(4) 1ヶ月の仕送り額

問10 あなたの仕送り額(家賃を除く)はいくらですか。

- ・仕送り額(家賃除く)は、「2万円以上4万円未満」(34.5%)が最も多く、「4万円以上6万円未満」(28.6%)、「2万円未満」(26.4%)、と続く。
- ・仕送り額「2万円未満」の割合は、前回(28.8%)とほとんど変わらない。
- ・前回の調査で最も多かったのは、「4万円以上6万円未満」(31.1%)であったことからすると、仕送り額の減少が推測される。
- ・学部別に見ると、仕送り額「2万円未満」が最も多いのは、医学部医学科(35.3%)である。

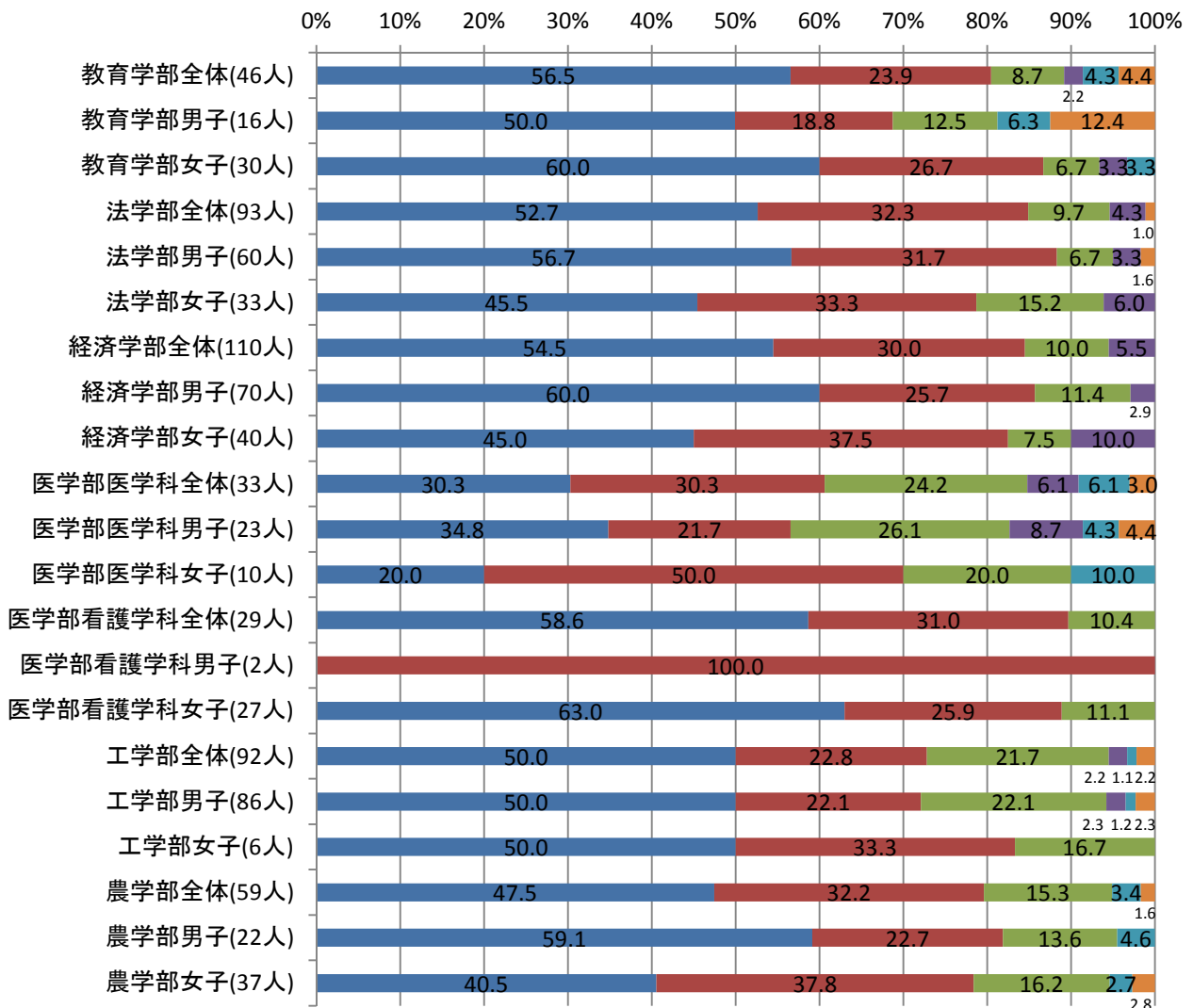
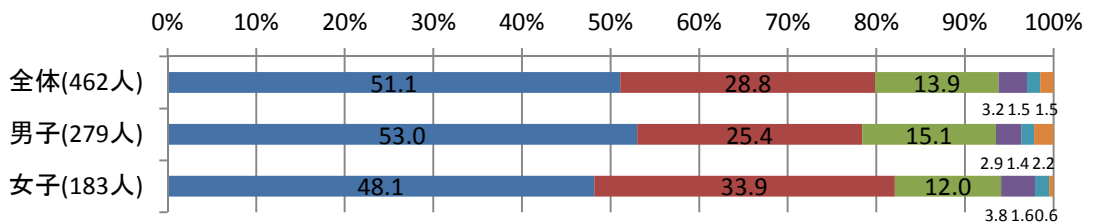


(5) 1ヶ月の支出額

問11 あなたの最近1年間における1ヶ月の支出の平均額(授業料は除きます)はいくらですか。

・1ヶ月の平均支出額(授業料除く)は、「5万円未満」(51.1%)が最も多い。「5万円未満」が最も多い点は、前回調査と同様であるが、前回の数値(36.9%)を大きく上回っている。
 ・「5万円以上7万円未満」(28.8%)、「7万円以上10万円未満」(13.9%)をみても、いずれも前回(それぞれ35.1%,19.8%)より減少している。1ヶ月の平均支出額は明らかに減少している。
 ・「5万円未満」の支出額は、医学部看護学科女子(63.0%)に最も多く、経済学部男子、教育学部女子(共に60.0%)が続く。

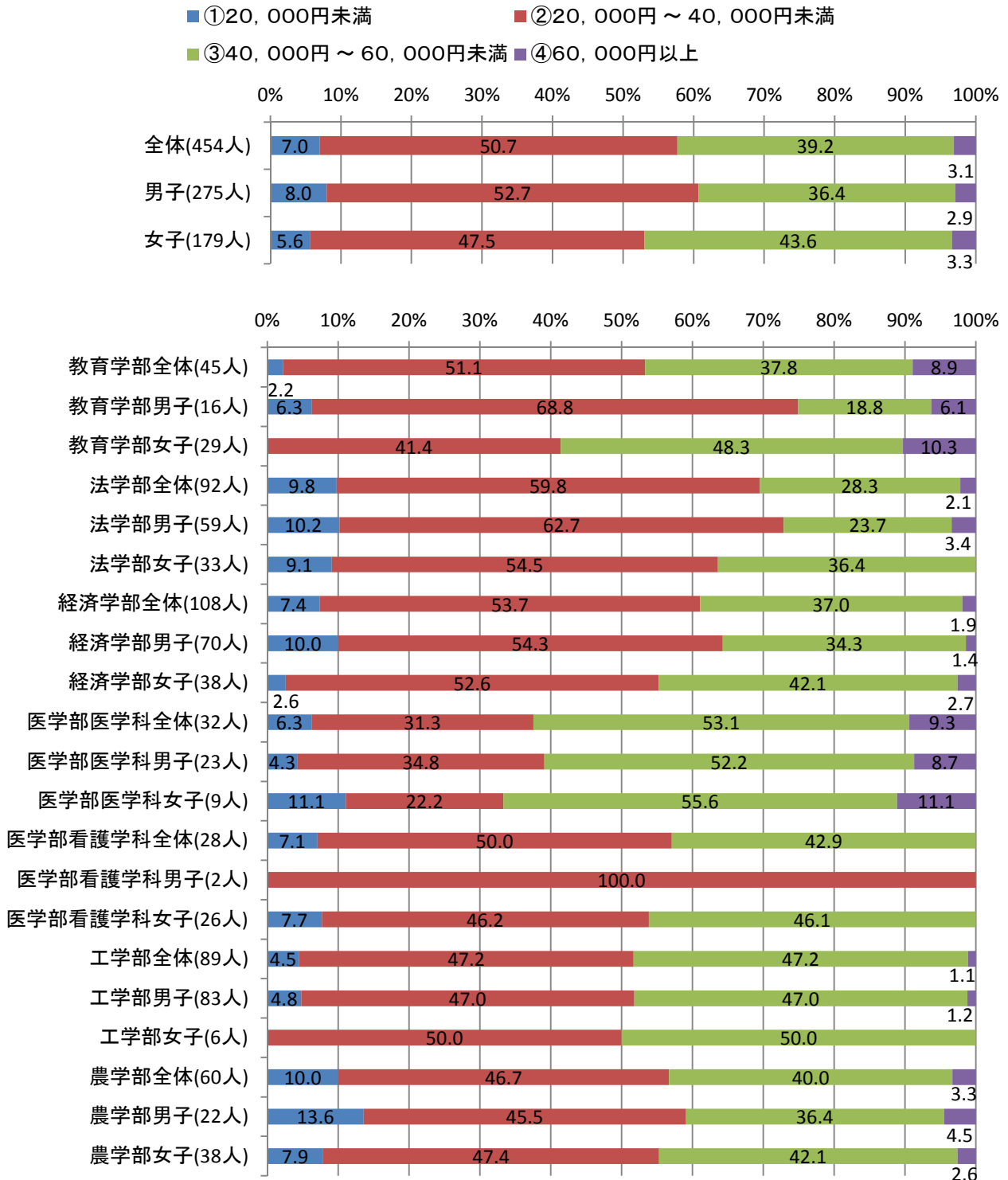
- ①50,000円未満
- ②50,000円～70,000円未満
- ③70,000円～100,000円未満
- ④100,000円～120,000円未満
- ⑤120,000円～150,000円未満
- ⑥150,000円以上



(6)1ヶ月の住居費

問12 あなたの1ヶ月の住居費はいくらですか。

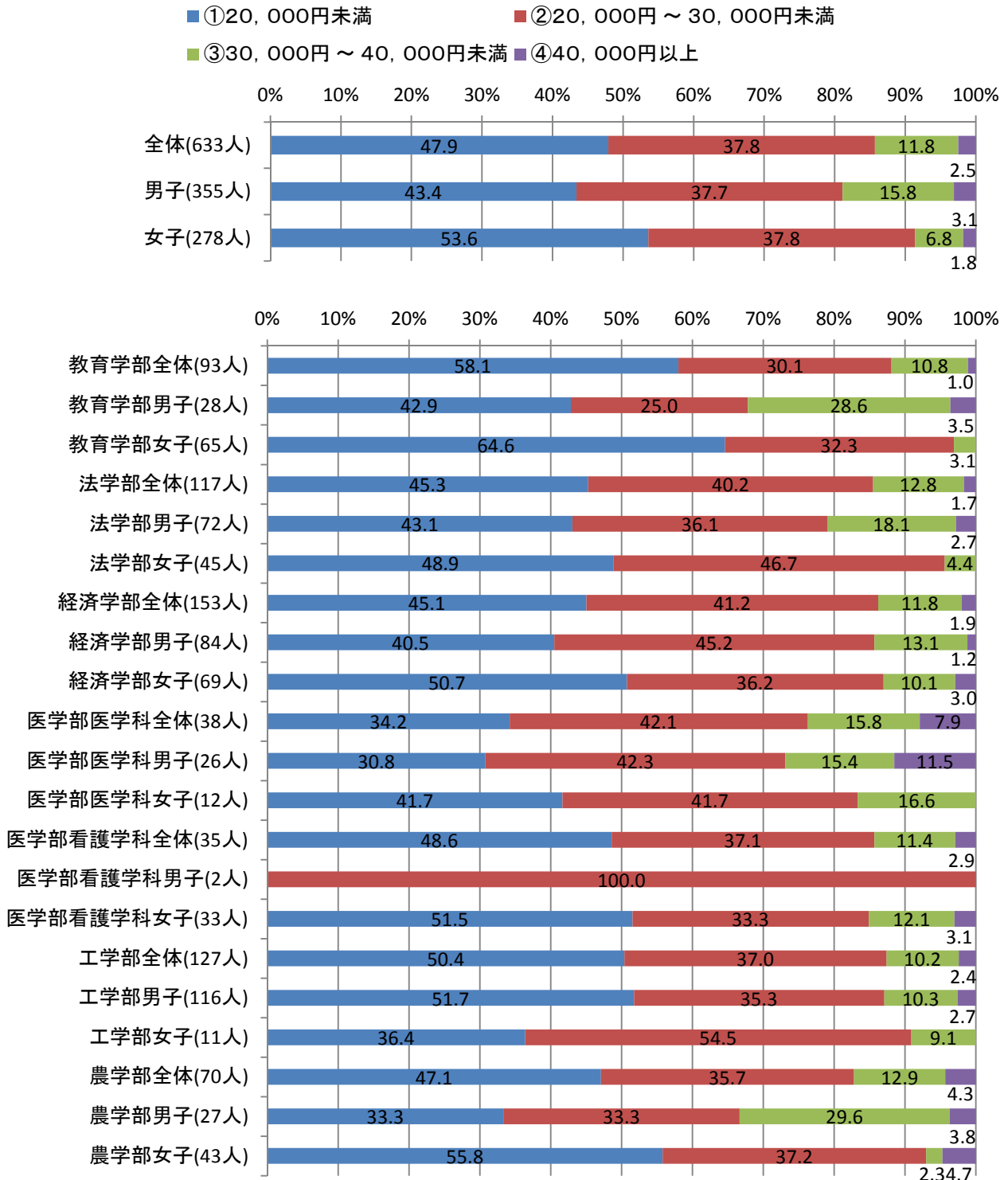
・家賃は、「2万円～4万円未満」(50.7%)が最多である。この層の前回調査時の割合(42.7%)を上回っている。その結果、「4万円以上」の層が半分以下に減少している。
 ・男女で家賃を比較すると、女子のほうが高い傾向にある。家賃「4万円未満」の層が最も多いのは、教育学部男子(75.1%)である。逆に「4万円以上」の層は、医学部医学科女子(66.7%)のほか、教育学部女子(58.6%)に多い。



(7)1ヶ月の食費

問13 あなたの最近1年間における1ヶ月の食費の平均額はいくらですか。

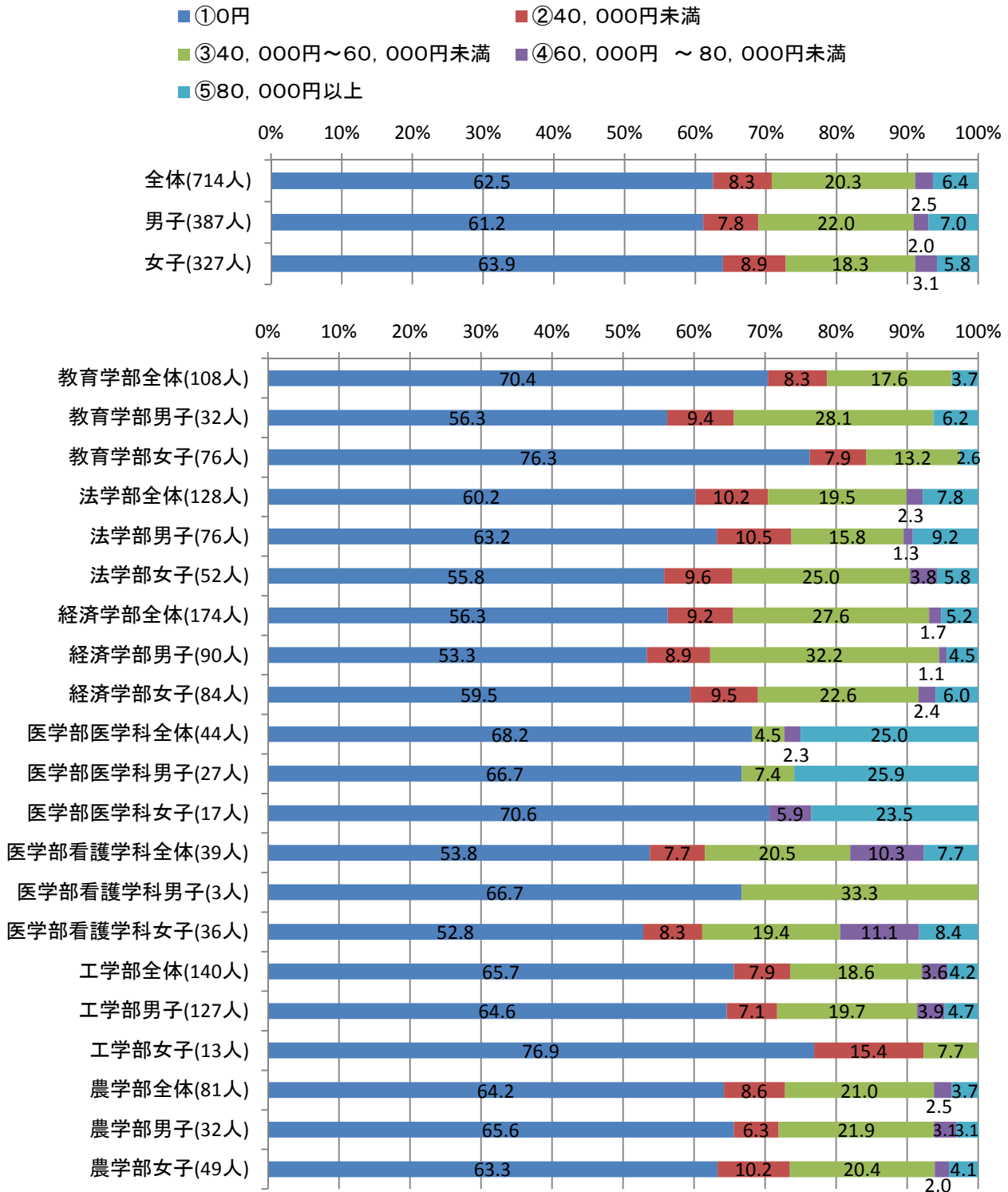
- ・1ヶ月の平均的な食費は「2万円未満」(47.9%)と最も多い。前回調査時の「2万円未満」(31.1%)よりもずっと多い。前回調査時には「2万～3万円未満」(2万円台)が最も多く(51.3%)、マジョリティであったから、食費の平均額は明らかに低下している。
- ・食費に「3万円以上」を支出している学生の割合は前回調査(17.6%)よりも減少している(14.3%)。男女で比較すると、女子のほうが食費は少ない傾向にある。
- ・食費が「2万円未満」の学生は、学部別に見ると、とりわけ教育学部女子(64.6%)に多い。



(8)1ヶ月の奨学金

問14 あなたの1ヶ月の奨学金はいくらですか。

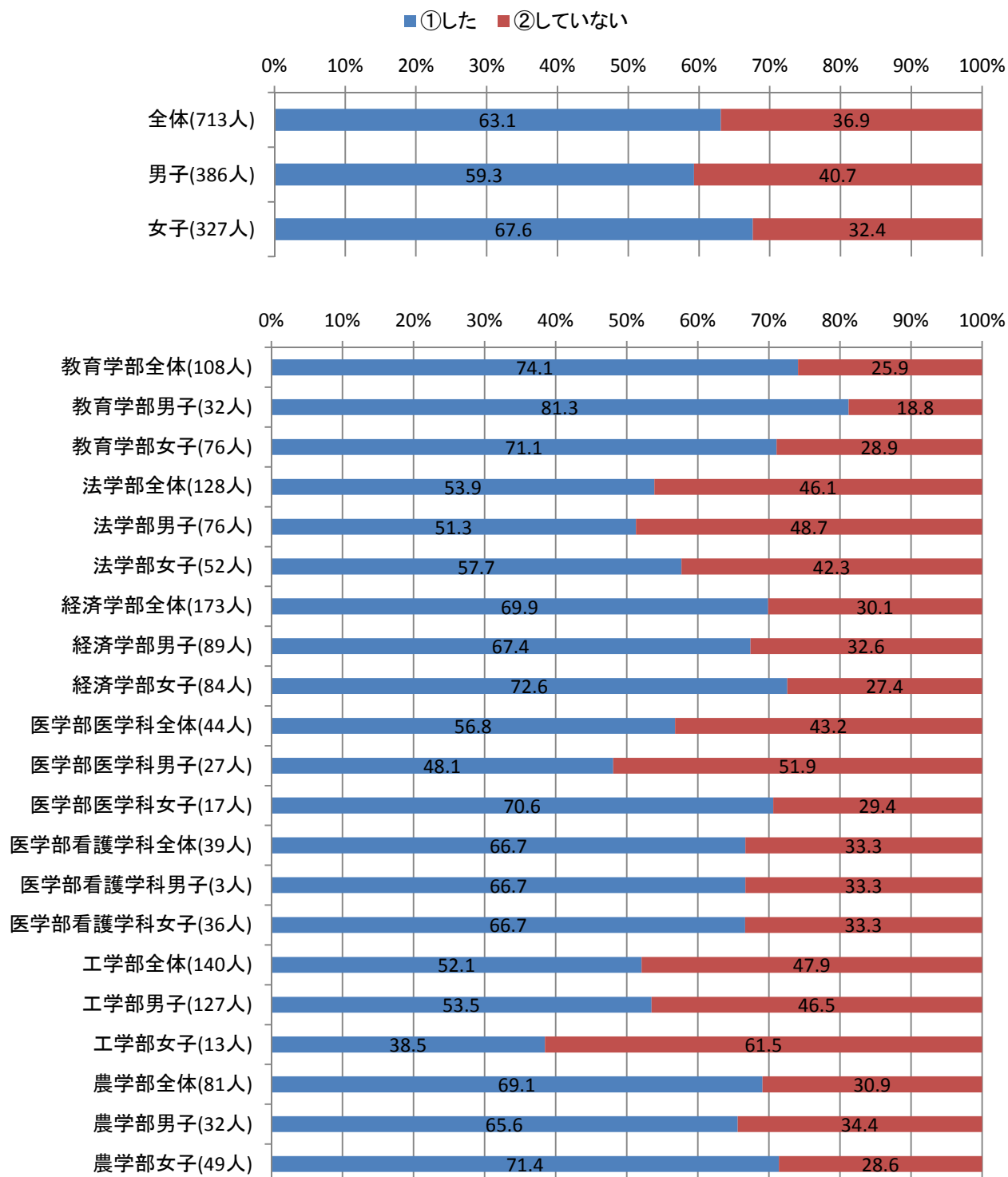
・奨学金を受給していない学生はおよそ6割(62.5%)である。とくに教育学部女子、工学部女子において奨学金の非受給者が多い(それぞれ76.3%、76.9%)。他方、およそ4割の学生が奨学金を受給している。
 ・「6万円未満」の奨学金受給者が28.6%、「6万円以上」の受給者が2.5%である。
 ・「8万円以上」の受給者は、6.4%である。学部別にみると、「8万円以上」の奨学金受給者は、とりわけ医学部男子・女子に多い(25.9%、23.5%)。



(9) 過去1年間のアルバイト経験

問15 あなたは最近1年間にアルバイトをしましたか。

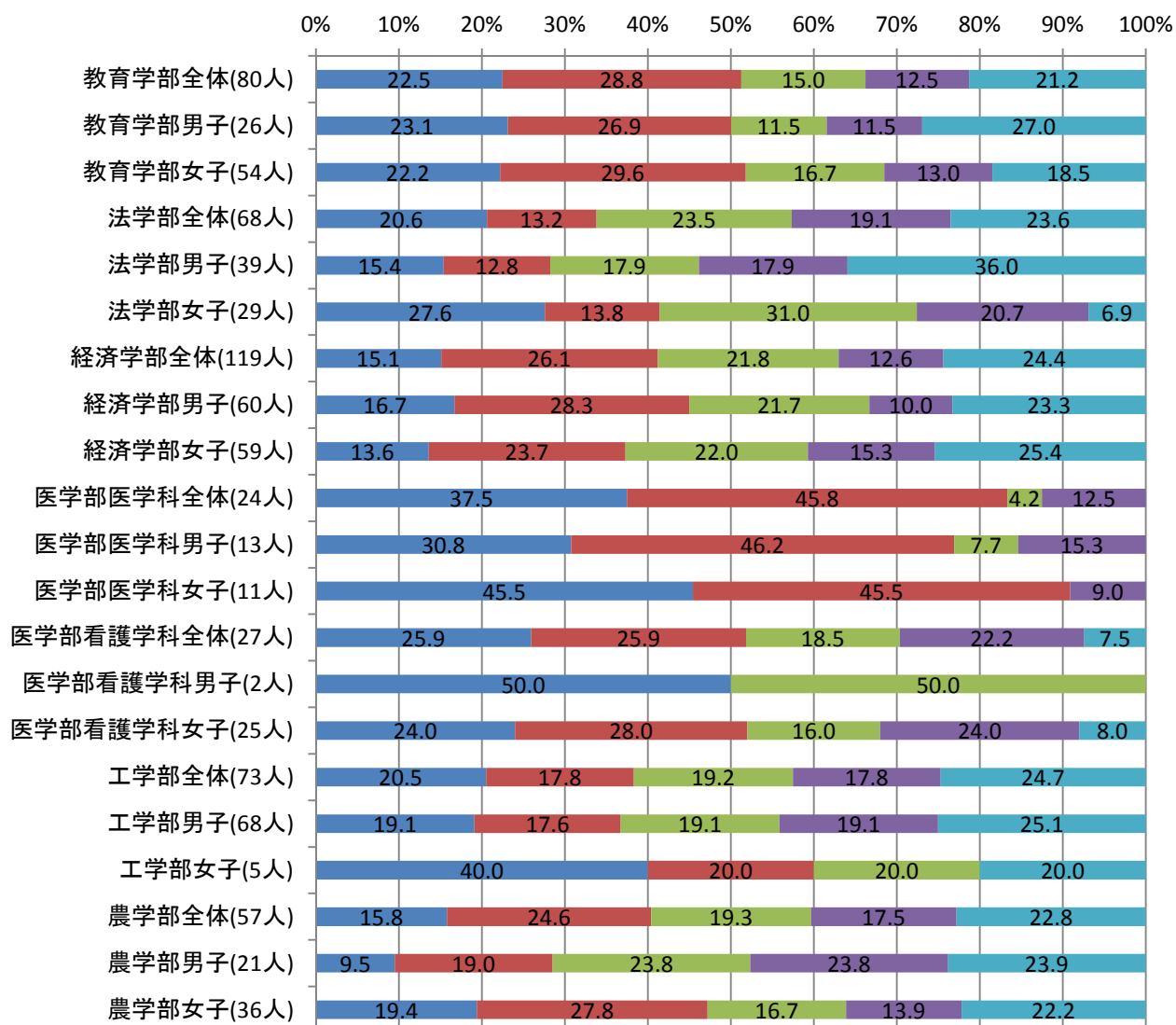
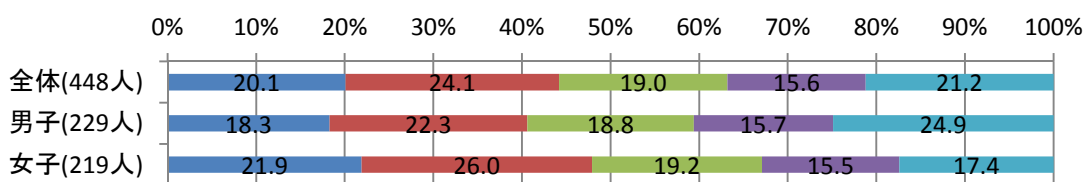
・「した」の割合が高いのが教育学部、経済学部、農学部です。
 ・一方、「していない」の割合が多いのは工学部、法学部、医学部です。原因にはカリキュラムの違い、国家資格試験の有無、分散キャンパスによる地域の違い、等が考えられますが不明です。



(10)1ヶ月のアルバイト収入

問16 問16から問18まで、アルバイトをしたと回答した方におたずねします。

・医学部学生アルバイト収入の低いことからアルバイトに労力を割けない状況が見られます。看護系もその傾向が見られます。

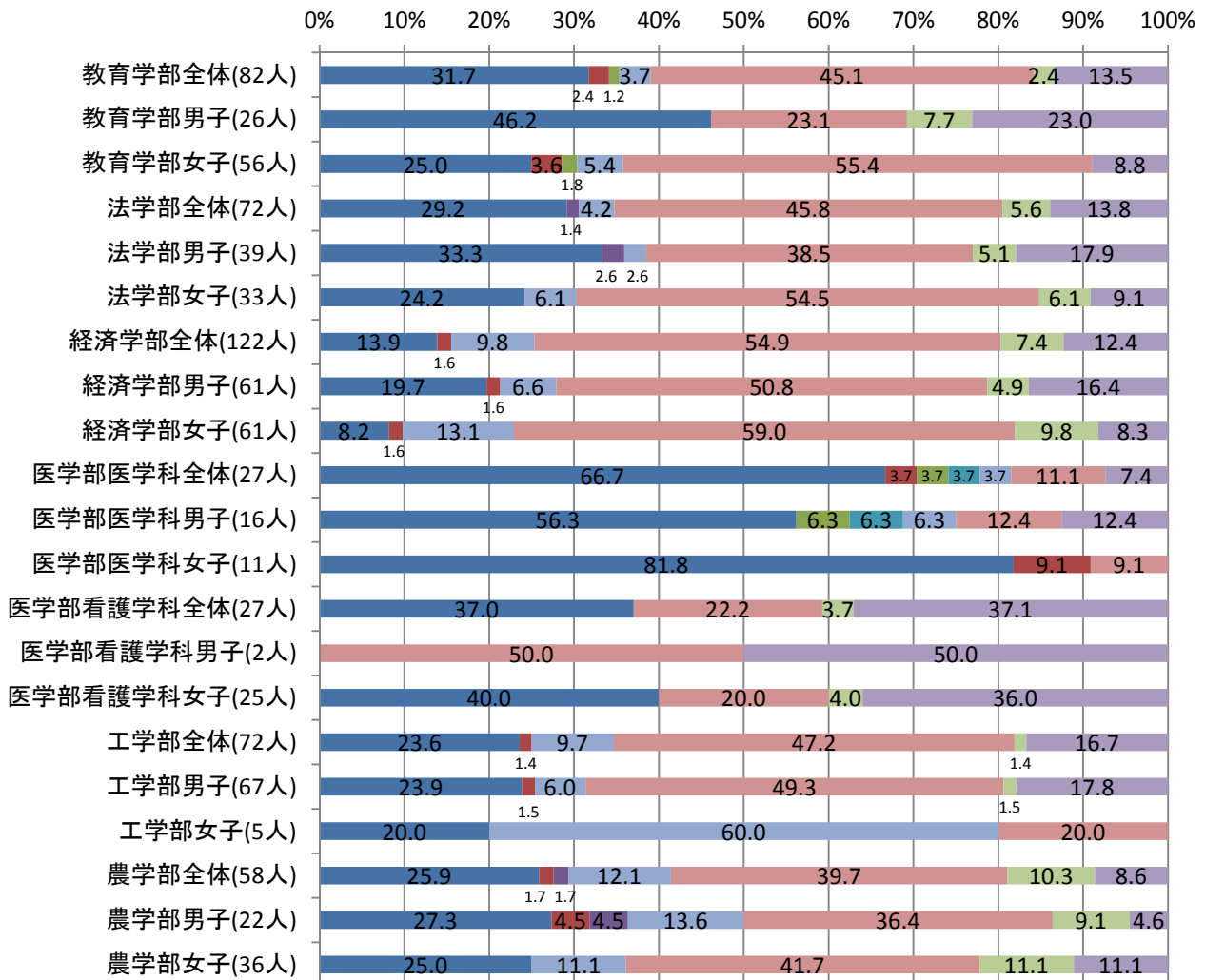
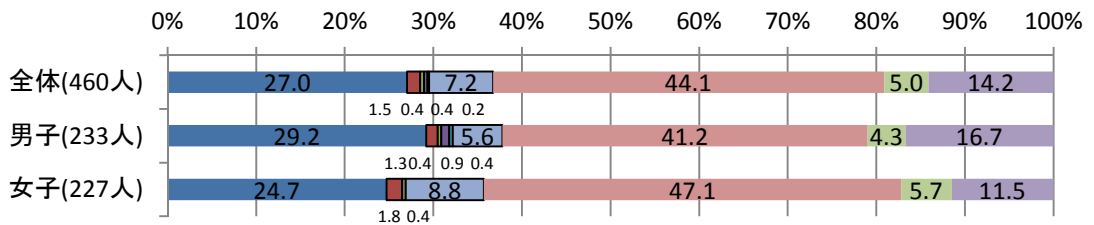


(11) アルバイトの主な職種

問17 あなたが主に従事したアルバイトを、次のうちから一つ選んで教えてください。

- ・医学部と看護系を除くと一番多いのが「飲食店の店員」で飲食店の多い高松市の特徴かもしれません。
- ・医学部では「家庭教師・塾講師」が、看護系では「その他」が多くなっています。

- ①家庭教師・塾講師
- ②事務員
- ③工場・建築現場の作業員
- ④配達員
- ⑤清掃作業員
- ⑥警備員
- ⑦販売員
- ⑧飲食店の店員
- ⑨スーパー、コンビニエンスストアの店員
- ⑩その他



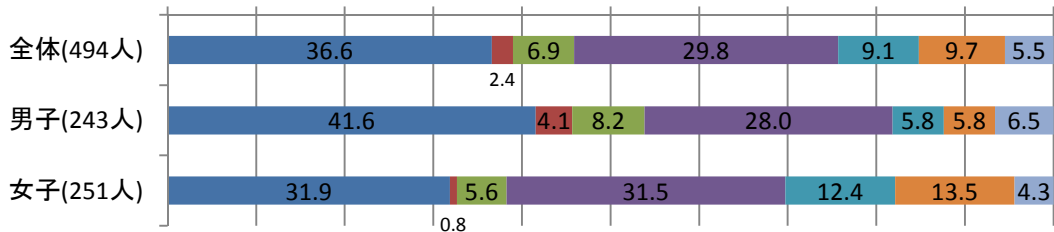
(12) アルバイト収入の主な用途

問18 アルバイト収入の主な用途は何ですか。次のうちから一つ選んで教えてください。

・サンプル数の少ない看護系男子を除くと3割から4割の学生がアルバイト収入で生活費を補っています。
 ・アルバイトのし過ぎで学業不振となり、奨学金や学費免除の打ち切り、といった悪循環を生じやすい状況が懸念されます。

■ ①生活費 ■ ②学費 ■ ③課外活動費 ■ ④教養・娯楽費 ■ ⑤旅行資金 ■ ⑥交際費・コンパ費 ■ ⑦その他

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

